

SAPAが旅の目的地になってほしいですね。



中日本エクスプレス株式会社
代表取締役社長
原田 裕 Yutaka Harada
1951年山口県生まれ。2005年12月より中日本エクスプレス株式会社
代表取締役社長

今、旅の目的地は、SAPA

薬丸裕英

SAPAいいところガイド対談

朝のテレビ番組などでおなじみの薬丸裕英さん。
マイホームパパとして、時間を見つけては家族そろってよくドライブに出かけているとか。
今回は、高速道路の旅に欠かせないサービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)の常連である薬丸さんと、
SAPAの管理・運営をする中日本エクスプレスの原田裕社長が対談。
地元名物の話から家族で楽しむための活用法、理想のSAPAづくりまで、熱く語っていただきました！

SAPAは強い味方。
家族みんなで
楽しんでいます！



俳優・タレント
薬丸 裕英 Hirohide Yakumaru
1966年東京都生まれ。1981年TBS「2年B組仙八先生」に出演。翌年、
シブがき隊のメンバーとして「NAI・NAI16」で歌手デビュー。7年間活
躍した後、1988年からソロとして活動。テレビドラマ、バラエティ番組、
CMなどに出演し、俳優、タレントとして幅広く活躍中



子供がぐずっても
車移動なら安心

薬丸 今春3月に新しいETC割引制度がスタートして、高速道路のSAPAはとても賑わっていますね。僕自身、ワンボックスカーに乗って、家族7人でよくドライブへ出かけるので、おトクに旅ができてありがたいです(笑)。何より、次女がまだ1歳ですので、途中で泣き出しても車の中なら安心ですし。
原田 私も自分で運転して、SAPAに立ち寄りながらドライブをしますが、薬丸さんはどのような所へ行かれるのですか？

薬丸 僕は、妻の実家がある瀬戸(愛知県)へ行くことが多いです。東名高速が中央道を使うので、インターネットで混雑状況を調べて「今日はこのルートで行こう」という感じで。
原田 さすが、使い慣れていらっしゃるんですね。それにしても、毎日忙しい中、家族との時間をとても大切にされているのですか。

薬丸 はい。次男と三男のサッカーの試合がある時は、仕事が終わってから地方へ応援に駆けつけることもありま。他の交通手段は深夜の移動などが難しいのですが、高速道路は時間を気にせず、自分のペースで走れますし、疲れたらSAPAで休憩できるので助かります。

地元ならではの食は
旅の思い出に

薬丸 僕は海老名SAに必ず立ち寄るんですが、そこで買える「ぼるとがる」のメロンパンはすごく美味しい！つい、毎回買ってしまいます(笑)。他にも何か話題の食べ物や名物はありますか。
原田 そうですね。エリア名物は色々ありますが、最近の話題といえば、駒門PA(上)のアメリカンドッグなどは、キャラクターグッズまで誕生しているんですよ。

薬丸 そういえば、そのアメリカンドッグは出演しているテレビ番組で取り上げたこともありまして、僕も好物なんですよ！子供の頃、出店でよく買って食べていたので、何だか懐かしくて(笑)。だから今は、子供が「ここで前、食べたのは美味しかったね」という物がある、つい立ち寄ってあげたくなります。

原田 それから、新商品としては、人気のしらはまシェフに作っていただいたオリジナルのチーズケーキがおすすです。ぜひ食べてみてください。
薬丸 (一試食)これは美味しい！甘味と酸味のバランスが、とてもいいですね。

原田 ありがとうございます。私たちとしても、「あの名物を食べに行こう」と思っていただけの商品を作るように、試行錯誤しています。
薬丸 それから食べ物と共に、旅の思い出に欠かせないのが風景ですよね。景色のいいエリアといえば、どんな所があるんですか。

原田 例えば、「恋人の聖地」にも選ばれた東名高速の浜名湖SAや、北陸道の杉津PAは、夕日のビュースポットとして全国的にも有名ですよ。
薬丸 へえ！ぜひ家族で行ってみたいですね。きれいな景色は思い出として、ずっと心に残りますよね。

原田 確かにそうですね。美味しい物を食べて、美しい景色を眺めて、同じ時間を共有することは、家族の絆を深めてくれる。私自身も、そう感じますね。
薬丸 僕が子供の頃、家族でのドライブはとても楽しみでした。だから自分が父親になった今、仕事などで日程的に余裕がなくても、子供たちとの思い出づくりのために時間を使ってあげたい。もちろん僕自身も、子供たちと旅をすることで皆さんのエネルギーをもらっています！

※NPO法人地域活性化支援センターが全国1100カ所を運営